

平成 2 1 年 2 月 2 0 日
名 古 屋 税 関

平成 2 0 年の名古屋税関における関税法違反事件の取締状況

名古屋税関は、平成 2 0 年の 1 年間に管内の空港や港湾等において不正薬物の密輸その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

1. 不正薬物等

平成 2 0 年に名古屋税関において摘発した不正薬物等のうち、覚せい剤については、摘発件数が減少したものの押収量は前年並み、コカイン、向精神薬については、押収量が増加した。

大麻、MDMA 等については、摘発件数、押収量ともに減少

銃器については、けん銃部品 1 件(2 点)

(資料参照)

2. その他

不正薬物等以外のもので、主な関税法違反事件は以下のとおり。

大麻種子事犯を関税法違反事件(無許可輸入罪)として、全国初の告発

模造バイアグラ等を知的財産侵害物品として、告発

大量の偽造クレジットカード原板(生カード)を三河港において摘発

名古屋税関における主な不正薬物等の摘発実績

種 類	年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	前年比
		件	10	0	0	8	6
覚せい剤	g	15,760	0	0	11,318	11,393	101%
大麻	件	9	14	16	21	14	67%
	g	37,025	14,484	523	55,861	10,083	18%
大麻草	件	8	11	10	17	13	76%
	g	34,927	14,080	130	26,389	10,082	38%
大麻樹脂	件	1	3	6	4	1	25%
	g	2,098	404	393	29,472	1	全減
ヘロイン	件	1	-	1	-	-	-
	g	0	-	1,667	-	-	-
コカイン	件	1	-	3	2	2	100%
	g	44,004	-	584	10	708	7403%
MDMA等	件	1	1	3	2	1	50%
	錠	400	44,304	123	15,691	1,464	9%
向精神薬	件	7	2	8	2	2	100%
	錠	2,066	392	1,912	740	1,666	225%
合計	件	29	17	31	35	25	71%
	g	96,789	14,484	2,773	67,189	22,184	33%
	錠	2,466	44,696	2,035	16,431	3,130	19%
銃砲	件	-	-	-	-	-	-
	丁	-	-	-	-	-	-
けん銃部品	件	-	-	-	1	1	100%
	点	-	-	-	1	2	200%

- (注) 1. 数字は摘発ベースのものであり、名古屋税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で当関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2. 覚せい剤は、覚せい剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
3. MDMAは、MDMA及びMDAの合計数量を示す。
4. 平成20年の数値は速報値である。

主な摘発事例（概要）

■ 覚せい剤事犯

【事例 1】

中部空港税関支署は、平成 20 年 10 月 15 日、中国から中部国際空港に到着した木製テーブルの輸入検査において、テーブル内部に隠匿していた、

覚せい剤 約 3,970 グラム

覚せい剤 約 3,969 グラム

を各々摘発した。



【事例 2】

中部空港税関支署は、平成 20 年 12 月 13 日、マレーシアから中部国際空港に到着した英国人男性の入国旅具検査において、携行スーツケース底部に二重工作し隠匿していた、

覚せい剤 約 1,483 グラム

を摘発した。



■ 大麻事犯

【事例 3】

中部空港税関支署は、平成 20 年 1 月 13 日、南アフリカから中部国際空港に到着した英国人女性の入国旅具検査において、携行スーツケース底部に二重工作し隠匿していた、

大麻草 約 9,136 グラム
を摘発した。



■ コカイン（飲み込み）事犯

【事例 4】

中部空港税関支署は、平成 20 年 5 月 24 日、アラブ首長国連邦から中部国際空港に到着したナイジェリア人男性の入国旅具検査において、体内に飲み込んで隠匿していた、

コカイン 48 塊 約 708 グラム
を摘発した。



けん銃事犯

【事例 5】

中部空港税関支署中部外郵出張所は、平成 20 年 12 月 12 日、アメリカから到着した小包郵便物の輸入検査において、郵便物内に隠匿していた、

けん銃部品 2 点
を摘発した。



大麻の種子事犯

【事例 6】

中部空港税関支署は、平成 20 年 2 月 14 日、オランダから中部国際空港に帰国した日本人夫婦の入国旅具検査において、妻の身辺に隠し持っていた、

大麻種子 約 1,000 粒
を摘発し、関税法違反事件（無許可輸入罪）として全国で初めて告発した。



■ 偽バイアグラ事犯

【事例 7】

中部空港税関支署中部外郵出張所は、平成 19 年 12 月 18 日から平成 20 年 2 月 1 日までの間に、中国からの国際スピード郵便（EMS）10 件に隠匿していた、
模造バイアグラ等 合計 4,916 錠
を摘発した。



■ 偽造クレジットカード（原板）事犯

【事例 8】

豊橋税関支署は、第四管区海上保安本部及び蒲郡海上保安署と共同捜査を行い、平成 20 年 6 月 5 日に三河港蒲郡ふ頭に入港したシエラレオネ共和国籍外国貿易船「HENG FENG」（ホシ フシ）号の中国人乗組員らが密輸入しようとした、
偽造クレジットカード原板 5,009 枚
を摘発した。

